

# 新しいサイン看板で動物園内が明るく、場所もわかりやすくなりました

ふれあい主幹/古賀公也

昨年(平成25年)9月、動物園待望のアミメキリン「スカイ」君が、おびひろ動物園から来園しました。ご存知のように、募金活動を主体となっていた市民団体のチャイルズエンジェル(昨年10月に解散)様には、雄キリンのスカイだけでなく、冬でも暖かくキリンを見ることができると可愛らしい観覧席も寄贈してくださいました。

このような釧路市民の活動がモデルとなり、直木賞作家の志茂田景樹様と釧路市在住のアーティスト木島誠悟様が釧路市動物園を舞台とする絵本「キリンがくる日」を出版し、第19回日本絵本賞読者賞を受賞しました。

実は、木島様がキリン観覧席をデザインしています。そこで、この絵本の世界のような“夢の動物園”をイメージに、園内のサイン看板をパステルカラーを基調に明るく、そして小さなお子様や外国からのお客様にもわかりやすい統一感のあるものへと一新するため、動物のイラストや看板デザ



中央広場のメイン看板



キリン舎と観覧席



ピクトのサイン看板

インを木島様にお願いしました。

新しいサイン看板は7月31日に完成、8月7日にお披露目式を行いました。正門や西門から入ると、観覧コースを示した看板、パクパクタイムなどのスケジュール看板が目に入ります。

また、中央広場には動物の積み木を組んだようなメインの看板、動物舎前には可愛らしい動物イラストの看板があります。園内のいたるところに、方向指示板も設置しました。北海道ゾーン入口の看板も新しくなり、大きな矢印の上を走っているエゾリスなど、ちょっとした遊び心もあるイラストの看板もあります。



動物舎のサイン看板